

商議所
青年部

天文館 物販企画で応援



緊急事態解除初の週末



新型コロナウイルス
感染拡大に伴う鹿児島

県への緊急事態宣言が解除され、最初の週末となった16日、鹿児島市天文館地区で、売り上げ減に悩む飲食店を応援する物販企画があった。日頃付き合いのある仲間のもとを訪

来店した鹿児島商工会議所青年部の会員(右)にテークアウト商品を渡す居酒屋の店主(左)16日夕、鹿児島市山之口町

4時ごろから会員が駆けつけ、名物「黒毛和牛もつ鍋セット」を買い求めた。同青年部広報委員長の小林令児さん(42)は「本来なら、大勢のメンバーと友人知人を連れだってお店で味わいたいが、かなわない。せめて持ち帰りで協力できたら」。店主の山中俊孝さん(41)は「宣言は解除さ

ね、商品をテークアウトする試み。苦境に立つ若手店主らは「心強い」と感謝、支援の広がりを期待した。鹿児島商工会議所青年部(同市、会員104人)が発案。松尾芭蕉が「奥の細道」に旅立ったとされる16日は「天文館の細道」と銘打ち、会員が関わる飲食店4店舗での持ち帰りを決めた。母の日の10日は、花屋のフラワーズに協力をした。計画で悩んだのが、密閉・密集・密接の「3密」回避。支援名目であっても感染リスクを低くする必要があり、集合時間を設けず、それぞれ手のすいた時間に店舗に向くことにした。

(高田盛宏)

16日は、同市山之口町の居酒屋「こじのね・ほかけふね」に午後